



横浜市立恩田小学校

学校だより 11月号

発行 平成30年 10月31日



6年生：6騒乱（ロックソーラン）

未来に向かって一歩前進

校長 古屋 澄人

深まりつつある秋を感じた10月13日（土）、やや肌寒い気温でしたが秋季運動会を開催することができました。当日は多くの保護者・地域の皆様、そして、自治会役員や民生・児童委員の皆様に来校いただき、子どもたちへのあたたかいご声援と多くの拍手をいただきました。ありがとうございます。

今年の運動会のスローガンは「未来に向かって一歩前進」でした。子どもたちは、当日に向けて、一步一步前進しながら演技・競技に取り組んできました。特に、印象に残っているのは、子どもたちは当日に至るまで日々の学校生活の中で演技や競技を意識して過ごしていたということです。休み時間に演技の曲を聞いて踊りに取り組んでいたり、演技のリズムを反芻しながら登校したりしていた子どももいました。ご家庭においても、子どもたちの思いの実現に向けてたくさんお声掛けをいただいたことと思います。

各学年の演技・競技は学年目標の達成に向けた取組でした。1年生は「恩田小のぴかいち」をめざした演技でした。光り輝くモンスターになることができました。2年生の目標は「やってみよう」です。何事もチャレンジしてこうという気持ちが演技や競技の中に表れていました。3年生の目標は「のびゆくわかば」です。鳴子（なるこ）をつかった「わかばたち」が見事な舞を踊りました。4年生の「恩田の風」は、和太鼓を使った恩田小学校の伝統演技の一つです。和太鼓を見事に響かせ、さらにパワーアップしてこの伝統を受け継ぐことができました。5年生は「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にしています。「感謝MAX」では、お互いに支え合ったパートナーへの感謝、そして、仲間と共に創り上げる「共創」の気持ちを組体操で表現できたのではないかと思います。6年生は、卒業生から受け継いだ伝統の法被（はっぴ）を羽織った演技でした。運動会をしめくくる気持ちのこもった「6騒乱（ロックソーラン）」だったと思います。

演技・競技だけでなく運動会全体を盛り上げた紅白応援団や音楽隊の子どもたちの活躍もありました。休み時間を使っての練習は子どもたちの主体性が際立っていました。高学年は係り活動でも運動会を支えました。それぞれの子どもたちが自分の役割を自覚し、責任をもって果たすことができたことに大きな成長をみることができました。

準備から当日にかけて、PTA役員の皆様、実行委員や係活動として運動会を支えていただいた皆様、そして、早朝の準備や後片付けにご協力をいただきました「ふるさと」（おやじの会）および保護者の皆様には、滞りなく運動会を運営することができたことに心より感謝申し上げます。子どもたちの豊かな学びを支えるには、家族・地域の皆様と学校との連携は欠かせません。今年の運動会のスローガンは「未来に向かって一歩前進」でしたが、今後の学校生活においても子どもたちが一歩を踏み出すことができるようにご支援をいただきますようお願いいたします。

最後になりますが、本校の職員のがんばりについてもご報告させていただきます。演技・競技・係活動等を安全に配慮しながら指導にあたった各学年担当および級外職員。子どもたちの健康管理に細心の注意を払った養護教諭。運動会の物品等の管理にあたった事務職員。校舎内外の環境整備につとめた技術員。栄養面での健康をサポートした給食調理員、栄養職員。当日の運営をスムーズに進行させることができたことも含めて、全ての職員が一丸となって運動会を創り上げることができました。この職員と共に今後も恩田小学校の教育活動を一層充実させていきたいと思っております。